

7月改訂版

アクションプログラム2024

和歌山県農水産物・加工食品の 販売促進戦略



和歌山県農林水産部 食品流通課

和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略

- ## ◆ アクションプログラム2024 取組方針
1. 新たな「わかやま紀州館」を活用した首都圏での販売促進
 2. 2025大阪・関西万博開催に向けた県産品プロモーション
 3. 優位性のある県産品を中心とした海外市場への販路開拓強化
 4. 生産者や事業者の商品力・販売力の向上支援

アクションプログラム2024 目次

I. 国内市場の販売促進強化

- 1. わかやま紀州館を活用した販路開拓 P 1
- 2. 大阪・関西万博に向けたプロモーション P 3
- 3. 「おいしく食べて和歌山モール」の活用 P 5
- 4. 県産品ブランディングセールス P 6
- 5. 有名百貨店等での販売促進 P 8
- 6. 外食産業タイアッププロモーション P 9
- 7. 大手食品企業とのタイアップによる商品開発 P 10
- 8. 県産酒類の魅力発信 P 11
- 9. 大型展示商談会への出展 P 12
- 10. 食品卸・商社等主催商談会への出展 P 13
- 11. 県主催産品商談会の開催 P 14
- 12. 「おいしい！健康わかやま」の推進 P 15

II. 海外市場の販路開拓強化

- 1. 海外における和歌山プロモーション P 16
- 2. 輸出拡大に向けた環境整備 P 18
- 3. 海外販路開拓に向けた商談機会の提供 P 20
- 4. 輸出拡大に向けた魅力の発信 P 22

III. 生産者・事業者への支援

- 1. デジタル社会に対応した生産者・事業者支援 P 23
- 2. 商品力・販売力の向上 P 24
- 3. 食品関係産業の振興 P 25

=====

- ※ 主要事業実績及び計画一覧 P 26

2024 主な施策

I. 国内市場の販売促進強化

戦略的 マーケ ティング

- アンテナショップわかやま紀州館
リニューアルによる情報発信の強化
- 大阪・関西万博に向けたプロモーション
 - ・わかやま産品商談会in大阪
 - ・大阪外食産業協会と連携した食材提案
- おいしく食べて和歌山モールの活用
- 県産品ブランディングセールス
 - ・老舗果物専門店等とのコラボ
 - ・県産食材の機能性、テロワール
- 有名百貨店等での販売促進

多様な 商談機会 の提供

- 大型展示商談会への出展
 - ・FOOD STYLE Kansai (in大阪)
 - ・スーパーマーケット・トレードショー
 - ・FOODEX JAPAN
- 食品卸・商社等主催商談会への出展
 - ・三井食品フードショー
 - ・国分西日本展示商談会等
- 県主催産品商談会の開催
 - ・県産品マッチング商談会
 - ・わかやま産品商談会in大阪・和歌山
- 個別商談機会提供、Web商談活用

魅力の 発信

- 外食産業とのタイアップ
- 大手食品企業とのタイアップ
- 県産酒類の魅力発信
- おいしい！健康わかやまの推進
 - ・イスタグラム等を活用した県産品の魅力発信

II. 海外市場の販路開拓強化

- 海外における和歌山プロモーション
 - ・和歌山梅酒プロモーション推進 (英・豪)
 - ・ベトナムプロモーションの強化
 - ・PPIHとの和歌山フェアの拡大(米国等)
 - ・高級スーパーや百貨店での店頭販促等
- 輸出拡大に向けた環境整備
 - ・食品輸出セミナー(JETRO、関西広域連合)
 - ・グローバル産地づくりの推進
 - ・輸出向けHACCP等対応施設整備支援
 - ・農産物の生産体制等の強化支援

- 海外展示商談会への出展
 - ・NRA2024 (米国)
 - ・THAIFEX 2024 (タイ)
 - ・FOODTAIPEI 2024 (台湾)
 - ・香港フードエキスポ2024 (香港)
 - ・FHC2024 (上海)
- 国内での商談機会の提供
 - ・輸出商社及び海外バイヤーとの商談会
 - ・JETRO「JAPAN STREET」
「JAPAN MALL」事業の活用

- 輸出拡大に向けた魅力の発信
 - ・海外における梅酒PRサイト
 - ・県産果実PRサイト(中国語)等の活用
 - ・4大果実(梅・桃・柿・みかん)PR動画
(中国語・英語版)の活用

III. 生産者・事業者への支援

市場が 求める 商品 づくり

- デジタル社会に対応した生産者・事業者支援
 - ・「おいしく食べて和歌山モール」(消費者向け)
 - ・「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS-」(バイヤー向け)
 - ・生産者のeコマース導入やデジタルマーケティングへの支援

- 商品力・販売力の向上
 - ・売れる商品の開発・改良等に向けたアドバイザー派遣
 - ・販売スキル向上セミナーの開催
 - ・HACCP高度化推進講習の開催

1.わかやま紀州館を活用した販路開拓

東京都（有楽町）に設置する県アンテナショップ「わかやま紀州館」が20周年を迎えることを契機とした大規模リニューアルを実施し、令和6年の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年や、令和7年の大阪・関西万博をはじめとするビッグイベントが訪れる好機を活用のうえ、首都圏における県産品の販路開拓や魅力発信の強化を図る。



（新たな取組の展開）

「和歌山県の優位性」を活かした店舗づくりにより、「ここでしか選べない」・「ここでしか味わうことができない」をキーワードに和歌山の魅力を顧客に体感してもらえる店舗運営を展開する。

あわせて、足を踏み入れたくなる仕掛けや、店内に滞在したくなる商品展示を実施し、来店者数の増加とともに滞在時間の増加に繋げていく。

- ・ 紀州材を利用したぬくもりを感じさせる店舗外観と陳列棚等の活用
- ・ 季節の旬を感じられる商品ゾーンの設営や奥行き感の創出
- ・ テスト販売展示コーナーの充実
- ・ イートインコーナー新設（和歌山梅酒飲み比べ・ジェラート販売など）
- ・ わかやまパンダグッズの常設販売

【わかやま紀州館】

- 場 所 東京都千代田区有楽町2-10-1
- 連絡先 03-6269-9434
- 営業時間 10:00～19:00 (日曜・祝日は10:00～18:00)
- URL <https://kishukan.com/>



新しく生まれ変わった県アンテナショップ「わかやま紀州館」を活用した販路開拓支援と首都圏で県産品の魅力発信を展開します。

(主な取組)

○「わかやま紀州館」での県産品の販売・PR

- ・テストマーケティング販売（3カ月間）の実施
- ・県内事業者への店頭販売スペースの提供
- ・店頭での特集コーナー設置による旬の商品紹介
- ・マスコミへの取材協力を通じた県産品の機能性をPR
- ・ふるさと広報大使等を活用した誘客イベントの開催

「商品出品」・「店頭販売」の
申込など詳細についてはこちら



イベントコーナーの様子



○バイヤー向け商談機能の強化

- ・「わかやま紀州館」を首都圏バイヤー向けの商談拠点とし、バイヤーが商品を手にとることができ、常駐職員を通して、県内事業者とのマッチングを実施
- ・バイヤー経験等のある県産品販路開拓コーディネーターを活用し商談力を強化



Instagramの
QRコード↓



○公式HPやSNSを活用した情報発信

- ・より多くのお客様に商品の最新情報を知ってもらうため、紀州館で販売する商品をInstagram等で紹介



公式HPリニューアル

○店舗外での県産品のPRや販売

- ・首都圏等での発信力の高いイベントへの出店

○「わかやま紀州館mini」を活用した県産品の販売・PR

- ・県外で県産品を販売するスペースを有する店舗（「わかやま紀州館mini」）の展開
※全国30店舗（2024.3.31時点）
（東北1、関東13、北陸1、中部3、近畿6、中国4、九州2）



紀州館mini登録店
(梅酒堂)の様子

'23実績

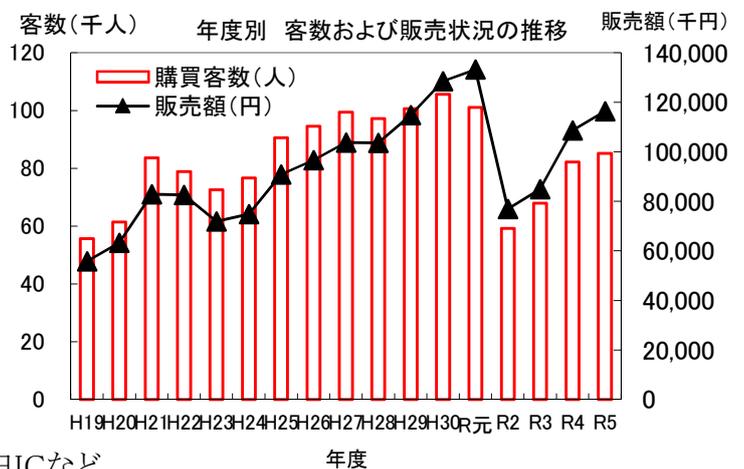
○わかやま紀州館

(2024.3.31現在)

- 【購買者数】85,183名
(対前年度 103.7%)
- 【売上】11,633万円
(対前年度 107.3%)
- 【出品事業者数】225社
- 【出品アイテム数】965点

○出前紀州館

- 【出店回数】12回
- 【売上】約476万円
- ※主な出店先
明治安田生命 丸の内マイプラザ、羽田ICなど



2.大阪・関西万博に向けたプロモーション

2025年に開催される「大阪・関西万博」を契機として訪れる多くの方々に向けて、和歌山県産品の魅力を発信するとともに販路拡大につなげていくため、大阪をはじめとする関西圏を軸に活躍するバイヤー等への働きかけを強化していきます。

(主な取組)

○わかやま産品商談会 in 大阪 (FOOD STYLE Kansai2025)

大阪外食産業協会をはじめとする関係団体による協力のもと、関西圏を軸に活躍するバイヤーへのプロモーションを強化！！

新規出展者や新商品の掘り起こしを行い、関西の食品バイヤー等に「わかやま産品」の魅力を紹介し、県内事業者の関西での販路開拓を支援。

令和6年度は、FOOD STYLE Kansai2025併催イベントとして開催。 = NEW =

【開催時期】 1月22日(水)～1月23日(木)

【開催場所】 インテックス大阪

【来場企業】 卸売・流通業、小売業、外食業、食品メーカー等

【出展者数】 50社(予定)

【募集時期】 7月31日(水)まで



県産食材の魅力を地域から発信するため、「わかやまポンチ」「紀州梅バーガー」「わかやま産品応援店」「わかやまジビエ」「わかやまスムージー」の取組を展開します。

(主な取組)

○ご当地グルメ紹介Webサイト「わかやま食ツーリズム」による魅力発信

- ・「わかやまポンチ」「紀州梅バーガー」「わかやま産品応援店」「わかやまジビエ」を紹介し登録店舗情報を発信。
- ・大阪・関西万博開催を見据え、外国人の誘客を目的に県産品取り扱い店をPR

お店の情報を多言語で発信



We source fresh seafood from the market in Wakayama. The atmosphere of our restaurant is very elegant, calm and comfortable.

Dai-ichi Seimei Bldg. 1F, 2-14-6 Oita, Wakayama City > [map](#)

5 min. walk from East Exit of JR Wakayama Sta.

+81-73-473-2220

<http://www.chushinya.jp/ashagi/>

Parking lot available

Open every day 17:00 - 0:00 midnight (order stop at 23:00. Enter by 22:00.) Lunch is by reservation only.

我們每天從和歌山市場採購新鮮的海產品。餐廳的氣氛非常優雅、平靜和舒適。

和歌山市太田2-14-6 第一生命大樓1F > [地圖](#)

從JR和歌山站東口步行5分鐘。

+81-73-473-2220

<http://www.chushinya.jp/ashagi/>

有停車位

每天17:00-午夜0:00營業 (23:00停止點餐, 22:00前進入。) 午餐只接受預訂。

我們每天從和歌山市場採購新鮮的海產品。餐廳的氣氛非常優雅、平靜和舒適。

和歌山市太田2-14-6 第一生命大樓1F > [地圖](#)

從JR和歌山站東口步行5分鐘。

+81-73-473-2220

<http://www.chushinya.jp/ashagi/>

有停車位

每天17:00-午夜0:00營業 (23:00停止點餐, 22:00前進入。) 午餐只接受預訂。

【わかやまポンチ】とは

- ①和歌山県産のうめ甘露煮又はシロップ漬け等の使用
- ②和歌山県産フルーツを1つ以上使用
- ③使用しているフルーツの説明があること

【紀州梅バーガー】とは

- ①和歌山県産のうめを使用していること
- ②うめの健康イメージをアピール出来ること
- ③和歌山県産のうめであることを表示すること

【わかやま産品応援店】とは

和歌山県の豊かでおいしい食材をPRするため、県産食材を使ったメニューの提供や販売を行うお店

【わかやまジビエ】とは

和歌山県内で捕獲され、食品営業許可を得た県内施設で処理加工された野生イノシシ及びシカ肉のこと

○大阪・関西万博開催を見据えた外食への食材提案アプローチ

- ・大阪外食産業協会（ORA）等への県産食材の提案
- ・外食関係者、有名シェフの招へいによる食材の魅力発信
- ・有名ホテル、レストラン等で和歌山フェアの開催
- ・高級外食店への食材提案



ホテルオークラ京都



なだ万



○「わかやまジビエ」の販売促進と安全・安心のPR

- ・高級百貨店、食肉卸売業者、量販店での販売促進
- ・ジビエ肉質等級制度により外食業界へ積極的にPR

【わかやまジビエ肉質等級制度】とは
県認定格付員により、認証施設で解体した肉をイノシシ
3等級、シカ2等級に格付けする制度



ジビエソーセージ

○「わかやまスムージー」

- ・企業と連携した新商品の開発・販売
- ・県産野菜を使ったレシピ開発及びPR

【わかやまスムージー】とは
複数の野菜・果実を使用し、かつ和歌山県産の野菜又は
果物を1つ以上使用したスムージー



わかやまスムージー

'23 実績

【わかやま食ツーリズム】

- 「わかやまポンチ」「紀州梅バーガー」「わかやま産品応援店」「わかやまジビエ」を紹介したご当地グルメ紹介Webサイト「わかやま食ツーリズム」に掲載店舗を追加
- 掲載店舗数（2024.3月時点） わかやまポンチ：34店舗 紀州梅バーガー：25店舗
わかやま産品応援店：169店舗 わかやまジビエ：59店舗

【わかやまジビエ】

- パートナーズ商談会2023（東京）にて、わかやまジビエブースを出展（2023.11.15）
- 資生堂パーラー銀座本店、ホテルオークラ京都にてメニューイン（2023.7月、2024.3-4月）

県産品の魅力発信及びブランド力の向上を図るため、有名百貨店とタイアップした効果的なPRや販売促進活動を展開するとともに、ターゲットとするマーケットの拡大を図ります。

○県とJAグループで構成する「和歌山ブランド向上対策推進会議」による在阪百貨店での青果物フェアに合わせた外食産業での戦略的プロモーション

- ・阪神梅田店や阪急うめだ店等の在阪百貨店での青果物プロモーション販売に合わせ、京阪神エリアの高級外食店で県産食材を用いたフェアを開催



関西の食雑誌「あまから手帖」とのタイアップによる<和歌山初夏の\甘/\辛/食材フェア>（2023.6.28~7.23）

3. 「おいしく食べて和歌山モール」の活用

和歌山県 食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」を核に、より多くの消費者やバイヤーと県内事業者を結ぶ機会を創出します。

○「おいしく食べて和歌山モール」(消費者向け)

生産現場の魅力情報を発信するとともに、県内事業者のあらゆる商品がすぐに購入できるポータルサイトを開設し、県内事業者のeコマースによる販促を支援

県内事業者のECサイト

楽天 YAHOO! JAPAN ショッピング
amazon POKETMARCHÉ
食ベチョ! 産直アウル
自社ECサイト 等

集約



(和歌山モールQRコード)
<https://oishii-wakayama.com>



和歌山の「おいしい」を探すならココ!
自然豊かな和歌山県は、全国に誇る「食の宝庫」! ここでは、和歌山の県産品をすぐに見つけることができます!
※購入ボタンを押すと、商品販売ページに移動します。

「和歌山の食」PR動画
四季折々、地域ごとに異なる表情をみせる「和歌山の食」PR動画をぜひご覧ください。

特集ページも盛りだくさん!
県産品のブランドストーリーや、季節のおくちもの、ダイエット&ビューティー企画など、旬の情報や、様々なテーマに合った特集ページを毎月更新しています。
毎月特集ページを更新中!>>
<https://oishii-wakayama.com/>
「おいしく食べて和歌山モール」で検索!

デジタルマーケティングによる誘客

- 季節に合わせた商品特集や様々な食にまつわるコンテンツの充実 Webマガジンの掲載
- Google検索広告や SNS(Instagram) 広告の掲載
- SEO対策、SNSとの連携など

誘客

～和歌山県 食の総合ポータルサイト～

おいしく食べて 和歌山モール

**流通関係者 向け
(B to B)**

**一般消費者 向け
(B to C)**

○「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS-」(バイヤー向け)

県産品・中間加工品の事業者とバイヤーを「結ぶ」オンライン商談システムを構築

国内外バイヤー

登録

食品商社
食品卸
百貨店
スーパーマーケット
コンビニエンスストア
通信販売業
外食産業
中食産業
ホテル旅館業
食品加工業

**和歌山モール
-FOR BUSINESS-**

検索が便利に!
様々なカテゴリの商品を同時に検索することができます。商談に役立つ詳細な商品情報を掲載!

**お気に入り登録で、後からでも
すぐに情報にアクセス!**
気になった商品を「お気に入り登録」することができます。お気に入り登録した商品はいつでもマイページから確認できます。また、商品情報が更新された場合はお知らせが通知されます。



<https://oishii-wakayama.com/for-business/>

オンライン商談ルームで即商談!
事業者、バイヤー双方が「売りたい」「買いたい」等の情報を登録できます。気になるオンライン商談ルームがあった場合、商談希望を出すことができ、即座にチャット機能で商談が開始できます。



商品管理DB機能

**登録商品が一覧管理
でき詳細情報を登録
できるDBの機能を強化**



海外向け商品ページ
商品カテゴリーや賞味期限、提案先国など様々な条件で商品検索が可能

'23実績

(2024. 3月時点)

- モール 閲覧数 : 372,915 (月間約31千PV、アラフォー世代がメイン層)
- 消費者向け : 登録事業者数 183社、登録商品数 792商品
- バイヤー向け : 登録事業者数 198社、登録商品数 826商品、登録バイヤー数 489名

4. 県産品ブランディングセールス

県産食材の品質の高さや機能性をテーマに高級百貨店や老舗果物専門店、外食店等で利用促進を図ることで、知名度とブランド力の向上を目指します。

(主な取組)

○県とJAグループで構成する「和歌山ブランド向上対策推進会議」を主体とした県産農産物のブランドイメージ定着に向けた効果的なPR 【再掲】

- ・首都圏高級百貨店(三越日本橋店、三越銀座店、伊勢丹新宿店等)や関西高級百貨店(大丸梅田店、阪神梅田店、阪急うめだ店等)とタイアップした「和歌山フェア」の開催
- ・首都圏等での県産農産物の高品質・高級イメージを押し出したPRイベントの開催



○有名シェフの招へい

県内外のトップシェフによる産地視察等の実施



○料理専門誌 (Webメディア等) とのタイアップ

外食業界において知名度が高く影響力のあるレストランの有名シェフを招へいし、魅力ある県産食材の提案を行うとともに、産地訪問の様子を料理専門誌に掲載することで料理業界での知名度とブランド力を向上



'23実績

トップシェフによる産地視察と料理専門誌への記事掲載

- 「HIGH FIVE SALAD」で県産いちじく、梅、マッシュルーム、紀州うめどり、ししわかまる、きくらげ、YN26、新しょうが、柿、紀州金時を使用したパワーサラダ、スムージーを提供 (9.1~9.30)、健康意識の高いアスリートを対象としたイベントを開催し県産食材のPRを実施(9.3)
- ホテルオークラ京都料理長による産地視察 (2023.12.4~12.5)
- クリエイテ関西 雑誌「あまから手帖3月号」、Web「あまから手帖Online」 (2024.2~)

○大阪・関西万博開催を見据えた外食への食材提案アプローチ 【再掲】

- ・大阪外食産業協会（ORA）等への県産食材の提案
- ・外食関係者、有名シェフの招へいによる食材の魅力発信
- ・有名ホテル、レストラン等での和歌山フェア開催
- ・高級外食店への食材提案



なだ万



資生堂パーラー



○老舗果物専門店とコラボした県産果実のPR

- ・県産果実の販売や県産果実を使用した商品の開発
- ・新宿高野「フルーティーライフ教室」での県産果実の魅力発信



新宿高野本店

○県産食材のもつ機能性の発信

- ・女子栄養大学等とのタイアップ事業の実施
- ・食材機能性ガイドやポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」にて、県産食材が持つ様々な機能性をPR



機能性ガイド

○県産食材のテロワール（生産地の気候、風土、ストーリー）による魅力発信

- ・品目別テロワール冊子の配布
- ・「わかやま食材テロワール」メールマガジンの発行
- ・テロワール動画による県産食材の魅力発信
- ・料理レシピサイトでの特産品や郷土料理情報の発信



テロワール冊子（リニューアル）

○県オリジナル品種等の魅力発信

- ・県が育成した農産物の新品種や今後首都圏を中心に販売シェアを獲得したい品目について、重点的にプロモーションを展開



紀州てまり



まりひめ



紀州うすい



びんちょうまぐろ



鮭

'23 実績

- 阪神梅田本店、阪急うめだ本店（もも：2022. 6. 29～7. 12）、三越日本橋本店、三越銀座店、伊勢丹新宿店（かき・みかん：2022. 10. 19～11. 15）におけるフェアの開催
- グランドニッコー東京台場での和歌山食材フェア（2022. 9. 1～11. 30）
- なだ万レストランとなだ万厨房での熊野古道フェア（2023. 9. 16～10. 31）
- 首都圏での和歌山県産南高梅PRプロモーション（2023. 6. 9～7. 9）
- 資生堂パーラー、カフェコムサで県産果実を使用したスイーツの販売
- 銀座料理飲食業組合連合会での県産食材フェアを実施（2023. 3. 4～3. 10）

5.有名百貨店等での販売促進

県産品の魅力発信及びブランド力の向上を図るため、有名百貨店とタイアップした効果的なPRや販売促進活動を展開するとともに、近年拡大傾向にある「EC」、「カタログ」等の通販市場における販路開拓を行い、県産品の認知度、売り上げアップを目指します。

(主な取組)

○県とJAグループで構成する「和歌山ブランド向上対策推進会議」を主体として、
県産農産物のブランドイメージ定着に向けた効果的なPRを展開 【再掲】

- ・首都圏高級百貨店(三越日本橋店、三越銀座店、伊勢丹新宿店等)や関西高級百貨店(大丸梅田店、阪神梅田店、阪急うめだ店等)とタイアップした「和歌山フェア」の開催
- ・首都圏等での県産農産物の高品質・高級イメージを押し出したPRイベントの開催



柿でハロウィンイメージのPR
(三越日本橋店)



みかん・柿の販売コーナー
(三越銀座店)



紀州てまりPR販売
(伊勢丹新宿店)



JALふるさと応援隊 店頭販促
(伊勢丹新宿店、阪神梅田本店)



○有名百貨店での食品催事等の開催

- ・首都圏等の有名百貨店における食品催事の開催
- ・近隣県と連携した物産展の開催
- ・有名百貨店への県産品の提案やオンライン物産展の開催



京王百貨店
(2023.5.11~16)



山形屋
(2024.2.21~27)

'23実績

- ・首都圏百貨店3店舗で2023.10~11月にみかん・柿等をPR
- ・在阪百貨店3店舗で2023.4~7月に桃等をPR
- ・京王百貨店新宿店(東京)2023.5.11~16「三重・和歌山・愛知の物産と観光展」
- ・山形屋(鹿児島)2024.2.21~27「第12回 三重・和歌山・奈良の物産展」

○通販カタログへの県産品掲載

- ・市場が拡大傾向にある大手通販カタログやECサイトによる販売の促進

郵便局
カタログ



'23実績

○郵便局カタログ「食で旅するおいしい和歌山2023特選和歌山のええもん詰合せ」
紙面・WEB掲載：43事業者/49商品(非食品含む)

発行部数：20万部

販売チャネル：関東(茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、群馬県)、南関東(神奈川県、山梨県)、近畿2府4県の郵便局、郵便局のネットショップ

6. 外食産業タイアッププロモーション

様々な業態の外食産業での利用推進のため、JAや生産者と連携し、県産食材を使用したフェアの開催などを通じて県産食材の販路拡大および認知度向上を図ります。

○県とJAグループで構成する「和歌山ブランド向上対策推進会議」による在阪百貨店での青果物フェアに合わせた外食産業での戦略的プロモーション【再掲】

- ・阪神梅田店や阪急うめだ店等の在阪百貨店での青果物プロモーション販売に合わせ、京阪神エリアの高級外食店で県産食材を用いたフェアを開催



関西の食雑誌「あまから手帖」とのタイアップによる<和歌山初夏の\甘/\辛/食材フェア> (2023.6.28~7.23)

○外食産業とのマッチング、フェアの開催

- ・バイヤーとの商談会の開催、現地アテンドの実施



○大阪・関西万博開催を見据えた外食への食材提案アプローチ【再掲】

- ・大阪外食産業協会（ORA）等への県産食材の提案
- ・外食関係者、有名シェフの招へいによる食材の魅力発信
- ・有名ホテル、レストラン等で和歌山フェアの開催
- ・高級外食店への食材提案



ホテルオークラ京都

資生堂パーラー

'23 実績

- 関西の食雑誌「あまから手帖」とのタイアップによる府内高級外食店6店舗でのフェア開催 <和歌山初夏の\甘/\辛/食材フェア> (2023.6.28~7.23)
- くら寿司(株)と連携した和歌山フェア開催 (2023.9.22~10.1、2023.10.5~10.15)
- ホテルオークラ京都料理長による産地視察 (2023.12.4~12.5)
- なだ万レストランとなだ万厨房での熊野古道フェア開催 (2023.9.16~10.31)
- 資生堂パーラー銀座本店レストランでのフェア開催 (2023.7.1~7.30)
- 資生堂パーラー、カフェコムサで県産果実を使用したスイーツの販売
- 銀座料理飲食業組合連合会での県産食材フェア (2023.11.3~11.9)

7. 大手食品企業とのタイアップによる商品開発

発信力のある大手食品企業とのタイアップにより商品づくりを行うことで、広く県産食材のPRを行い、さらなるイメージアップとわかやま食材のファンづくりを推進します。

(主な取組)

- 大手食品・飲料メーカー、コンビニエンスストアに県産食材の魅力をPR
- 「和歌山県共同開発商品PRマーク」の利用促進
- 産地と大手食品企業の連携による商品開発



メーカーとの共同記者会見



生産者と産地での共同商品発表会



メーカーと協働した地域でのPR

食品メーカーやコンビニエンスストアで発売された県産食材を使った協力商品



(株)セブン-イレブン・ジャパン



サントリー(株)



(株)ファミリーマート



(株)ローソン



UHA味覚糖(株)



アサヒ飲料(株)

『和歌山県共同開発商品PRマーク』

全国での和歌山県産品の認知向上を図ることを目的に、県と民間企業とが県産品を活用して共同開発した商品に付すロゴマークです。



'23 実績

- (株)セブン-イレブン・ジャパンが「食の和歌山応援フェア」を開催し、県産「南高梅」「あら川の桃」「高菜」を使用した6商品を発売(2023.6.21～近畿2府4県のセブン-イレブン店舗)
- サントリー(株)が「南高梅」を使用した県産品を使用し、2種類の『紀州南高梅翠ジンソーダ』を発売(2023.8～県内の飲食店)
- (株)ファミリーマートが「有田みかん」を使用した『とろける食感 ぎゅっとみかん』を発売(2023.10.10～全国ファミリーマート店舗)
- (株)ローソンが「有田みかん」を使用した『フルーツサンド 有田みかん&キウイ』を発売(2023.10.31～近畿2府4県のローソン店舗)
- (株)セブン-イレブン・ジャパンが「有田みかん」を使用した『有田みかんサンド』を発売(2023.11.29～近畿2府4県のセブン-イレブン店舗)
- UHA味覚糖(株)が「有田みかん」を使用した『ご当地PREMIUM 有田みかんグミ』を発売(2024.2.19～全国のイオン店舗)
- アサヒ飲料(株)が県産「南高梅」のエキス等を使用した『三ツ矢 芳醇南高梅』と『ウィルキンソン タンサン ウメ』を発売(2024.2.20～全国の量販店他)

8. 県産酒類の魅力発信

和歌山の「日本酒」・「本格梅酒」等のそれぞれの魅力や特徴をわかりやすく国内外の消費者にPRすることによるファンづくりと消費拡大を目指します。

(主な取組)

○日本酒や本格梅酒の魅力を各種大型イベントでPR

- ・「日本酒マッピング図」及び「梅酒マッピング図」を活用のもと、飲食業関係団体等との連携によるブース出展やフェア開催などを通じた魅力発信を展開

日本酒マッピング図



梅酒マッピング図



【本格梅酒】とは

日本洋酒酒造組合が平成27年1月23日に制定した自主基準で、うめ・糖類・酒類のみを原料とし、酸味料等を使用していない梅酒

【GI和歌山梅酒】とは

本格梅酒のうち、一定の生産基準を満たし品質が保証されているとして、「GI和歌山梅酒管理委員会」の審査により認められた梅酒



- ・イベントや百貨店フェア、商談会などの機会を通じたPRの実施



「観光PRレセプション」
日本酒、梅酒PRブース



「第2回和歌山県人会世界大会」
日本酒、梅酒PRブース



「県主催商談会」
梅酒PRブース

'23 実績

- 「日本酒マッピング図」・「梅酒マッピング図」のイベント等での配付
 - ・高野山会議2023におけるPR (2023. 7. 13)
 - ・「和歌山の地酒を楽しむ会」におけるPR (2023. 9. 29)
 - ・「第2回和歌山県人会世界大会」におけるPR (2023. 10. 5、10. 8)
- 首都圏等におけるPR展開
 - ・銀座料理飲食業組合連合会タイアップキャンペーンの展開 (2023. 6. 1～30)
 - ・「プレミアム和歌山 東京レセプション」におけるPR (2023. 10. 7)
 - ・「わかやま産品商談会in大阪」におけるPR (2023. 1. 20)
 - ・新宿中村屋「和歌山“美”食ナイト」におけるPR (2023. 11. 15)
 - ・「聖地リゾート！和歌山」東京レセプション2023におけるPR (2023. 11. 30)
- SNS等を活用したPR展開
 - ・ふるさと広報大使「中島由貴」氏によるGI和歌山梅酒動画制作・発信 (2022. 6～)

9.大型展示商談会への出展

新たな販路開拓や販路の拡大を支援するため、国内外の食品関係事業者やバイヤーが集結する大型展示商談会へ「おいしい！健康わかやま」をコンセプトとしたブースを出展します。

(主な取組)

○第7回フードストアソリューションズフェア2024

西日本を代表する大手小売企業も運営委員を務める展示会に、近畿農政局連携のもと「みどりの食料システム戦略コーナー」に集団出展
【開催期間】9月4日(水)～5日(木) 【開催場所】インテックス大阪
【募集者数】8事業者(環境に配慮した農産物の生産者に限る) ※募集終了



'23実績

【開催期間】2023.9.6～9.7 【開催場所】インテックス大阪 【来場者数】15,561人

○わかやま産品商談会 in 大阪 (FOOD STYLE Kansai2025) 【再掲】 = NEW =

関西の食品バイヤー等に「わかやま産品」の魅力を紹介し、県内事業者の関西での販路開拓を支援。令和6年度は、FOOD STYLE Kansai2025併催イベントとして開催。

【開催期間】1月22日(水)～1月23日(木)

【開催場所】インテックス大阪

【募集時期】7月31日(水)まで 【募集者数】50社(予定)



わかやま産品商談会in大阪2024

'23実績

【開催期間】2024.1.19 【開催場所】大阪マーチャндаイズ・マートビル (OMMビル)
【来場者数】647人

○第59回 スーパーマーケット・トレードショー2025

スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信する商談展示会

【開催期間】2月12日(水)～14日(金) ※募集終了

【開催場所】幕張メッセ 【募集者数】16社



スーパーマーケット・トレードショー2024

'23実績

【開催期間】2024.2.14～2.16 【開催場所】幕張メッセ
【来場者数】75,858人 【出展者数】21事業者

○第50回 FOOD EX JAPAN 2025

国内外の食品関係事業者やバイヤー等が参加するアジア最大級の国際食品・飲料専門展示商談会

【開催期間】3月11日(火)～14日(金) ※募集終了

【開催場所】東京ビッグサイト 【募集者数】16社



FOOD EX JAPAN 2024

'23実績

【開催期間】2024.3.5～3.8 【開催場所】東京ビッグサイト
【来場者数】76,183人 【出展者数】18事業者

※和歌山県が出展するブースの中で、出展事業者の方々に商品等を展示していただきますので、個別に出展する場合に比べて展示面積はやや狭くなりますが、相乗効果による来場者の増加が期待されます。また、和歌山県が装飾等の費用を負担しますので、出展事業者の方々は経費を抑えて出展することができます。

10.食品卸・商社等主催商談会への出展

特色ある県産品の認知度向上、販路開拓及び販売促進を目的として、大手食品卸・商社が主催する展示商談会へ出展します。

(主な取組)

○伊藤忠食品展示商談会

全国の伊藤忠食品株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、県産品をPR

【開催期間】7月3日(水)～4日(木)

【開催場所】神戸国際展示場

【募集者数】3事業者 ※募集終了



伊藤忠食品展示会商談会

'23実績

【開催期間】2023.7.27～7.28 【開催場所】インテックス大阪 【出展者数】5事業者

○三井食品フードショー2024

全国の三井食品株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、県産品をPR

【開催期間】7月10日(水)～11日(木)

【開催場所】東京ビックサイト

【募集者数】5事業者 ※募集終了



三井食品フードショー2023

'23実績

【開催期間】2023.7.12～7.13 【開催場所】東京ビックサイト 【出展者数】5事業者

○国分西日本展示商談会

関西圏中心の国分西日本株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、県産品をPR

【開催期間】2月頃の1日間

【開催場所】帝国ホテル大阪

【募集者数】4事業者(予定)

【募集時期】11月頃



国分西日本展示商談会

'23実績

【開催期間】2024.2.7 【開催場所】帝国ホテル大阪 【出展者数】4事業者

○三井食品関西メニュー提案会

関西圏中心の三井食品株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、県産品をPR

【開催期間】2月頃の1日間

【開催場所】大阪マーチャングイズマート

【募集者数】4事業者(予定)

【募集時期】12月頃



三井食品関西メニュー提案会

'23実績

【開催期間】2024.2.22 【開催場所】大阪マーチャングイズマート 【出展者数】4事業者

11. 県主催産品商談会の開催

食品バイヤーを本県に招へいし商談するとともに、首都圏で開催される大型展示商談会へのステップとしても参加が可能な県主催の商談会を和歌山や大阪で開催します。

(主な取組)

○県産品マッチング商談会の開催

招へいする食品卸、小売等のバイヤーが求める商品と県内事業者の求める売り先を事前にヒアリングしたマッチング形式の商談会を開催するとともに、事業者の製造現場等へ案内

【開催時期】10月2日(水)～3日(木)

【開催場所】白浜町

【参加バイヤー】食品卸、小売(百貨店、スーパー等)、通販、
外食バイヤー等 15名程度

【募集者数】30社(予定)

【募集時期】7月19日(金)まで



商談会



現地視察

'23実績

- | | | |
|-----|-----------------------------|---------------------------|
| 第1回 | 【開催日】2023.5.24～5.25 | 【開催場所】HOTEL SEAMORE (白浜町) |
| | 【参加バイヤー】卸、小売、外食、輸出 9社12バイヤー | |
| | 【参加者数・商談数】県内事業者 31社、93商談 | |
| 第2回 | 【開催日】2023.10.5～10.6 | 【開催場所】和歌山県民文化会館 |
| | 【参加バイヤー】卸、小売、輸出 11社13バイヤー | |
| | 【参加者数・商談数】県内事業者 27社、112商談 | |

○わかやま産品商談会 in 和歌山

農水産物や新しく開発した加工食品の紹介など、主として県内での販路拡大や地産地消の推進を目的に開催

【開催時期】11月21日(木)

【開催場所】ホテルアバローム紀の国

【募集時期】7月12日(金)まで



わかやま産品商談会in和歌山

'23実績

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 【開催日】2023.11.22 | 【開催場所】ホテルアバローム紀の国 |
| 【来場者数】250人 | 【出展者数】85社(団体) (うち新規事業者25社) |

○わかやま産品商談会 in 大阪 (FOOD STYLE Kansai2025) 【再掲】

新規出展者や新商品の掘り起こしを行い、関西の食品バイヤー等に「わかやま産品」の魅力を紹介し、県内事業者の関西での販路開拓を支援。令和6年度は、FOOD STYLE Kansai2025併催イベントとして開催。

【開催時期】1月22日(水)～1月23日(木)

【開催場所】インテックス大阪

【来場企業】卸売・流通業、小売業、外食業、
食品メーカー等

【出展者数】50社(予定)

【募集時期】7月31日(水)まで



個別商談会



わかやま産品商談会in大阪

'23実績

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 【開催日】2024.1.19 | 【開催場所】大阪マーチャндаイズ・マート |
| 【来場者数】647人 | 【出展者数】81社(団体) (うち新規事業者14社) |

12. 「おいしい！健康わかやま」の推進

より多くの消費者に和歌山の食材を知ってもらうため、「おいしい！健康わかやま」をキャッチフレーズに魅力いっぱいの県産品情報を発信します。

(主な取組)

- メディア等を活用した県産食材の魅力発信
- 首都圏外食店とのタイアップにより、健康志向な消費者をターゲットに、健康という切り口で食材の持つ機能性をPR



'23実績

- 日本テレビ ZIP! 「旅するエプロン」にて、マグロ、太刀魚、ブリヒラ、桃を紹介 (7.24-27)
- 「HIGH FIVE SALAD」で県産いちじく、梅、マッシュルーム、紀州うめどり、ししわかまる、きくらげ、YN26、新しょうが、柿、紀州金時を使用したパワーサラダ、スムージーを提供 (9.1~9.30)、健康意識の高いアスリートを対象としたイベントを開催し県産食材のPRを実施(9.3)

○ソーシャルメディア等を活用した「おいしい！健康わかやま」の魅力発信

- ・拡散効果が期待できる「高い話題性」や「高いエンタメ性」のある県産品情報や、イベント情報の投稿など、幅広い層にアプローチできる情報をソーシャルメディアで発信
- ・和歌山県ゆかりの方々との協力による、Instagram等を活用した県産品の魅力発信
- ・県産品PR用販促資材の作成・貸与



中島由貴氏×梅干し



Facebook



Instagram



YouTube

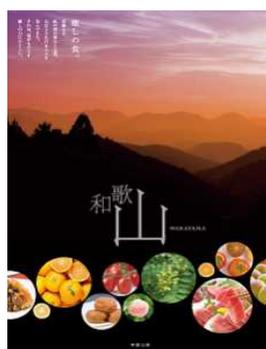


X (旧Twitter)

'23実績

- SNSで「おいしい！健康わかやま」を情報発信 (2024.3月時点)
フォロワー数：Facebook 1,340人、Instagram 5,480人、X (旧Twitter) 3,686人、YouTube 1,260人 (総再生回数 277,404回)
- Instagramで「わかやま産品応援店」での食事・特産品の購入を促進する「和歌山の食を巡る『おいしい！健康わかやま』Instagramキャンペーン」を実施

○パンフレットやポスターなど販促資材を活用した県産食材や産地の魅力発信



1.海外における和歌山プロモーション

海外での県産品の魅力を高め、その認知度を向上させるため、果実や加工食品のフェア、関係機関と協力した食品輸出ミッションなど、多彩なプロモーションを実施します。

(主な取組)

○和歌山梅酒プロモーションの推進

県産梅酒が酒類の地理的表示（GI）に指定されたことを契機として、GI和歌山梅酒管理委員会とともに、2021年度からフランスでのブランド化を推進。

今年度はGI和歌山梅酒を中心に県産梅酒のブランド力の向上及び販路拡大を目指し、対象地域を拡大してプロモーションを実施します。



認証ロゴマーク

<和歌山梅酒ブランド化推進事業 in イギリス>

■Spotlight on Local Japanにおける梅・梅酒文化の発信

外務省が設置した欧州での日本文化の発信拠点であるJapan House Londonにおいて、日本文化における梅の歴史や位置付け等を紹介することで、梅への理解を深め梅酒を中心とした梅関連製品の販路開拓を図ります。

- ・インポーター及び営業スタッフへの講習及び営業支援
- ・現地酒販店等における和歌山梅酒販売キャンペーンの実施



<和歌山梅酒ブランド化推進事業 in オーストラリア>

■Japan Expo2024への出展

観光、物産、芸術文化、教育、先端技術など、日本が誇る多様な魅力をオーストラリア全土に向けて発信する総合プロモーションをコンセプトに掲げるJapan Expo2024に出展し、県産梅酒のPRを実施します。

- ・発信力の高いレストランやバーとの連携によるプロモーションの実施
- ・現地輸入事業者や外食関係者を対象とした試飲・商談機会の創出
- ・県産食材とのペアリングやカクテルメニューの提案



オーストラリアにおける県産梅酒プロモーションの様子（令和5年11月）

'23実績

○GI和歌山梅酒プロモーション in フランス

- ・パリにおけるGI和歌山梅酒販売店情報を掲載したフランス向けHPの開設
- ・アンバサダーによるSNSを活用した和歌山梅酒の情報発信
- ・現地酒販店等における和歌山梅酒販売キャンペーンを実施（2023.12.7～12.11）
- ・インポーター及び営業スタッフへの講習及び営業支援

○高級スーパーや百貨店での店頭販促等の実施
〈果実フェア〉

- ・うめ 6月 香港、シンガポール
- ・もも 7月 香港
- ・かき 10月 香港、シンガポール、タイ
- ・みかん 12～1月 香港、シンガポール、ベトナム
- ・はっさく 2月 香港、シンガポール



ベトナムでのみかんフェア

'23実績

○和歌山フェアの開催

- [うめ] 香港、シンガポール：店頭販促（2023. 6）
- [もも] 香港：フードエキスポ 店頭販促（2023. 8）
- [かき] 香港、シンガポール：店頭販促（2023. 11）
- [みかん] 香港、シンガポール、ベトナム：店頭販促（2023. 12～2024. 1）

○加工食品を中心とした和歌山フェア

- ・PPIHとの連携協定を活用した「和歌山フェア」の拡大（カリフォルニア・ハワイ）
2021年3月に株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（PPIH）との間で、県産品の輸出拡大に向けた連携協定を締結したことを受け、同社が運営するアジアや米国などの海外店舗で、加工食品や青果のフェアを開催することで、県産品のPRと販路拡大を目指します。

・和歌山フェア in ハワイ

開催時期：4/24～5/14

場所：Donquijote、Marukai Wholesale mart、Times supermarket（計7店舗）

・和歌山フェア in カリフォルニア

時期：5/16～6/12

場所：Tokyo Central、Marukai market（計6店舗）

※商談会は両フェアとも前年（R5年）11/30～12/1に実施



米国（カリフォルニア・ハワイ）における和歌山フェアの様子（令和5年5月）

・和歌山フェア in 台湾

台湾最大の港湾都市であり、更なる成長が見込まれる高雄市の高級量販店において、フェアを実施し販路開拓を図ります。

時期：9月下旬～10月下旬（商談会は6月開催）

場所：漢神巨蛋購物廣場ほか

'23実績

- 香港DON DON DONKIで青梅フェアを開催（2023. 6. 2-6. 4）
- 米国ロサンゼルス食品スーパー「Tokyo Central」及び「Marukai」の計6店舗で加工品を中心とした和歌山フェアを開催（2023. 5. 18-6. 14）
- 米国ハワイの食品スーパー「Don Quijote」、「Marukai Wholesale Mart」及び「Times Supermarket」の計7店舗で加工品を中心とした和歌山フェアを開催（2023. 4. 26-6. 27）
- 和歌山フェア（カリフォルニア・ハワイ）に向けた商談会（県内29事業者参加）（2023. 11）
- シンガポールのDON DON DONKIで県産温州みかんの販売（2023. 12-1）

2.輸出拡大に向けた環境整備

輸出先国のニーズや規制等に対応した産地づくりや食品加工施設の整備など、輸出拡大に向けた生産体制の強化を促進します。

また、日本貿易振興機構(JETRO)との連携により、貿易実務や海外販路開拓など輸出に関する取組を包括的に支援します。

(主な取組)

○農産物の生産体制等の強化支援（県関係課室・研究機関等と連携）

- ・輸出向け農産物を確保・増産するため、輸出園地や輸出専用施設の整備等を支援。
- ・民間企業や県試験研究機関等と連携し、長期輸送を可能とする鮮度保持技術の確立に向けた研究を推進。
- ・海外の残留農薬基準に対応した病害虫防除暦体系の構築に向けた情報収集・提供等による支援。
- ・植物検疫条件により生産園地・選果こん包施設の登録、植物防疫所による調査及び検査への対応等が必要な台湾、ベトナム、タイ等向け輸出について、庁内関係課室と連携し植物検疫等に係る対応を支援するとともに、輸出先国の販路開拓に係る支援を並行して実施。
- ・輸出先国の植物検疫条件や残留農薬規制等に関する情報を収集・随時提供し、新たに輸出に取り組もうとする生産者団体等の輸出取組を支援。



輸出専用施設の整備（もも選果ラインの検疫対応）

輸出柿の鮮度保持技術確立のための研究・試験

'23実績

- ・農林水産業競争力アップ技術開発 研究テーマ（令和5～7年度実施）
〈果樹試験場〉EUへの輸出に対応したサンショウの病害虫防除体系の確立
- ・民間企業とのかき輸出における鮮度保持技術・資材の研究・試験を実施

○輸出向けHACCP等対応施設整備の支援（国庫補助事業）

- ・輸出先国の規制に対応した製品製造やHACCP等の認証取得に必要な規格を満たす食品製造事業者等の施設の新設・改修及び機器の整備を支援。



厳密な温度管理に対応する急速冷凍庫の導入



空気を經由した汚染を防止する設備（パーティション）の導入



製造ラインにおいて添加物混入を回避する輸出専用ミキサーの導入

'23実績

- ・食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業採択 2件

○グローバル産地づくりの推進

- ・輸出先国のニーズや規制等に対応したグローバル産地の形成を進めるため、農林水産省の輸出促進法に基づく輸出事業計画策定などの取組を支援。

'23実績

- ・輸出事業計画認定件数 1件（これまでの県内認定計画数：計8件）

○輸出証明書の発行

- ・台湾向け輸出に関して県内で生産・加工されたことを証明する原産地証明書の発行。

'23実績

- ・原産地証明書の発行 台湾向け 35件

○選果・こん包施設認証の発行

- ・タイ向け輸出青果物の選果・こん包施設に係る衛生管理の認証・証明書の発行。

'23実績

- ・タイ向け輸出青果物の選果・こん包施設 認証・更新 1件（認証施設数：15施設）
- ・タイ向け輸出青果物の選果・こん包施設 認証証明書の原本証明発行 6件

○インポートトレランス申請の促進

輸出先国で残留基準が設定されていない農薬は使用できないため、輸出先国において基準値を設定するために必要な申請を促進。

○関西広域連合「食品輸出セミナー」の開催

関西に数多くある高品質で競争力の高い食品の輸出を振興するため、意欲的な事業者に有益な情報を提供し、食品輸出に対する一層の機運を醸成。

'23実績

- ・更なる拡大が見込まれるオーガニック市場をテーマにWeb開催（2024.1.29）

○JETRO和歌山との連携による輸出拡大に向けた総合支援

70を超える海外事務所を有するJETROの和歌山拠点と連携し、輸出に意欲的な事業者を包括的にサポート。



【JETRO和歌山の主な支援メニュー】

- ・貿易投資相談
自社商品を輸出する際の輸出先国における規制などについて、電話・メール・面談形式で個別に対応。
- ・ハンズオン支援による海外販路開拓支援。
専門家（輸出プロモーター）が製品や会社の状況に応じた輸出戦略を策定するとともに、バイヤー情報の収集から商談への立会い、契約締結まで一貫した支援を実施。
- ・バイヤー招聘による商談会の実施
国内外の有力バイヤーを招聘し、生産施設等への訪問を通じて県産品への理解の促進を図るとともに、商談会を実施することで販路開拓を図る。
- ・輸出セミナーの開催
海外市場開拓を目指す事業者を対象に、輸出の基礎から市場動向、規制への対応に関する幅広い知識を提供し、海外でのビジネスを成功へ導くための支援を実施。



東牟婁出張相談会in那智勝浦町

3. 海外販路開拓に向けた商談機会の提供

海外展示会への集団出展や商社との商談など、商談機会の提供により、県内事業者の海外販路開拓及び拡大を支援します。

○ 海外展示会への出展

- ・ NRA2024 (National Restaurant Association Show)

期 間：5月18日(土)～21日(火)
場 所：McCormick Place (米国・シカゴ)

- ・ THAIFEX 2024

期 間：5月28日(火)～6月1日(土)
場 所：IMPACT Muang Thong Thani (タイ)

- ・ FOODTAIPEI2024 -台北国際食品見本市-

期 間：6月26日(水)～29日(土)
場 所：Taipei Nangang Exhibition Center(台北)

- ・ 香港フードエキスポ2024

期 間：8月15日(木)～19日(月)
場 所：Hong Kong Convention and Exhibition Centre

- ・ FHC2024 (Food & Hotel China)

期 間：11月12日(火)～14日(木)
場 所：上海新国際博覧中心 (上海)



THAIFEX2023



Food Taipei 2023



香港フードエキスポ2023

'23実績

○THAIFEX2023	【開催期間】 2023. 5. 23～27	【県内事業者】 6 社
○FOODTAIPEI2023	【開催期間】 2023. 6. 14～17	【県内事業者】 4 社
○香港フードエキスポ2023	【開催期間】 2023. 8. 17～21	【県内事業者】 5 社
○FHC2023	【開催期間】 2023. 11. 8～10	【県内事業者】 3 社

○ 商社とのマッチングによる販路開拓

- ・ 国内商社商談会 (国内向け商社商談会と同時開催)

国内で食品輸出に関わる商社を招へいし、事前マッチング形式による商談会を開催します。

時 期：10月2日(水)～3日(木)
場 所：白浜町



'23実績

○第1回	2023. 5. 24～25	【輸出商社】 1 社	【県内事業者】 1 1 社
○第2回	2023. 10. 5～6	【輸出商社】 2 社、	【県内事業者】 1 6 社

- ・バイヤーとの個別商談機会の創出
県産品に関心のある国内商社及び海外バイヤー等との県内での個別商談の機会を提供。
- ・WEB商談の実施
オンラインを活用することで、国内外のバイヤーと効率的に商談できる機会を提供。



'23実績

○商談等実施件数 375 件（うち、バイヤーとの個別商談 90 件、Web商談 91 件）

OMOJ 締結を活用した商談機会等の創出

- ・香港貿易発展局（2013.7.5締結）
- ・ベトナム農業農村開発省（2015.3.11締結）、商工省（2018.10.8締結）
- ・タイ王国商務省（2019.5.28締結）

※MOJ: 行政機関等の組織間の合意事項を記した文書

○デジタルを活用した海外支援

- ・Web用商談ツールの活用
ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」内に外国語版県産品ページを作成し、輸出に取り組む意欲のある県内事業者の商品を海外バイヤー、国内輸出商社等に提案



バイヤー向けページ

【掲載言語】英語・中国語・日本語 【登録バイヤー数】214社（2024年3月末時点）

・「JAPAN STREET」事業の活用

JETROの設定基準を満たす海外の有力バイヤーのみが閲覧可能なオンラインマッチングサイト「JAPAN STREET」の活用を促進し、県内事業者と海外バイヤーとの商談機会を創出

・「JAPAN MALL」事業の活用

世界各国におけるEC市場の急速な拡大を踏まえ、JETROが海外の主要ECサイトを通じて日本商品の輸出拡大を図る「JAPAN MALL事業」の活用を促進

【対象国・地域】中国、東南アジア、中東、北米、中南米、欧州など

・「サンプルショールーム」事業との連携

JETROでは、世界各地にサンプルショールームを設置し日本産食品を展示。現地バイヤーを招き商品紹介や試飲・試食の提供を随時行うとともにオンライン商談を実施することで販路拡大を目指す。



'23実績

- JAPAN STREET事業 県内登録事業者 93社（うち食品事業者54社）
- JAPAN MALL事業 県内事業者商談件数 27社（うち食品事業者19社）

4.輸出拡大に向けた魅力の発信

県産果実・加工食品の魅力を、様々なチャンネル・言語を使って海外へ積極的に発信します。
(主な取組)

○フランス語版のGI和歌山梅酒ポータルサイト

- ・GI和歌山梅酒に関する様々な情報を発信。
過去の取組で作成したレシピ、カクテル動画のほか、GI和歌山梅酒の購入が可能なレストランや酒販店のマップ等を掲載しています。



○オーストラリア向け県産梅酒紹介HP（英語）

- ・昨年度、オーストラリアでの県産梅酒プロモーションに出品した県内事業者の商品（5社7商品）を紹介。
令和6年度にも内容を拡充して活用する予定です。



WAKAYAMA UMESHU

KARAHIMOTO FOODS CO.,LTD.

HARUKA



○GI和歌山梅酒マッピング図（英語・中国語・仏語）

- ・県産本格梅酒を梅酒の特徴である甘味（辛口～甘口）、香味（芳醇～淡麗）により分類の上、星印で酸味の度合いを表示することで、味覚の理解を深め、購入を促します。



○販促グッズ

- ・梅酒、梅シロップの作り方（英語・中国語）
青梅の消費に馴染みのない方々に向けて、南高梅の特徴や熟度による色の変化、梅酒、梅シロップの作り方を紹介します。



○県産果実PRポスター（中国語・英語）の活用

- ・フェアを始めとした販売促進活動において、県産果実をPRする中国語及び英語ポスターを活用し、本県の魅力をPRします。



○4大果実（梅・桃・柿・みかん）PR動画（中国語・英語版）の活用



中国語

英語

中国語

英語

中国語

英語

中国語

英語

1. デジタル社会に対応した生産者・事業者支援

デジタル社会に対応した販売力の向上と魅力ある商品づくりを目指し、eコマースの導入や販売スキル向上に向けたセミナーを開催します。また、各社のECでの販売商品を掲載する食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」への登録を推進します。

(主な取組)

○デジタルマーケティングに係る課題解決型ワークショップ

農林水産業者等を対象に、eコマースを運営する上で抱えている課題を、専門家による伴走型支援やワークショップで課題解決に向け支援を実施



○eコマース導入に向けた支援

インターネット販売を始めたい、インターネット販売での売上を伸ばしたい事業者に対して、ECサイトの作成や運営に係る専門家派遣及び産直EC等と連携したeコマースに関するセミナー開催



○食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」 【再掲】

- ・産地の魅力情報を発信するとともに、県内事業者のあらゆる商品がすぐに購入できるポータルサイトにて消費者へ県産品を紹介、県内事業者のeコマースによる販促を支援
- ・県産品等を製造販売する事業者とバイヤーを結ぶオンライン商談システム「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS-」によるBtoB取引を支援



「おいしく食べて和歌山モール(消費者向け)」ページ



「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS- (バイヤー向け)」ページ

'23実績

(2024. 3月時点)

- 課題解決型デジタルマーケティング講座：17事業者を伴走支援
- 産直アウル販売実績：約33,000千円、登録生産者数:154件
- eコマース導入に向けた支援：セミナー開催（年1回延べ43名参加）
- Web用販売促進ツール等作成への補助：15事業者（実績4,488千円）
- モール 閲覧数：372,915（月間約31千PV、20～40歳代の女性がメイン層）
 - 消費者向け：登録事業者数 183社、登録商品数 792商品
 - バイヤー向け：登録事業者数 198社、登録商品数 876商品、登録バイヤー数 489名

2.商品力・販売力の向上

生産者・事業者の商品力及び販売力向上を目指し、スキルアップに向けたセミナーを開催するとともに、商品開発、eコマース、HACCP高度化等に向けた専門家を派遣します。

(主な取組)

○売れる商品の開発・改良等に向けたアドバイザー派遣

- ・アドバイザー（新商品開発、流通・販売促進、デザイン等の専門家）の派遣
- ・わかやま産業振興財団が実施する専門家派遣事業の活用
- ・中小企業庁が設置する和歌山県よろず支援拠点「無料経営相談所」の活用
- ・工業技術センター「フードプロセッシングラボ」を活用した新商品づくりを支援



アドバイザー派遣

フードプロセッシングラボ

○有名バイヤーによる販売促進セミナーの開催（募集：10月31日（木）まで ※先着順）

地域発こだわり商品の販売促進を展開する五味商店 寺谷氏を講師に招き、商談の進め方や体験談を交えた意見交換など幅広い内容のセミナーを11月14日（木）に開催



販売促進セミナー

○HACCP高度化推進講習の開催（募集：7月中旬～8月、実施予定：9月～3月）

- ・国内外への販路開拓を考えている意欲的な事業者を対象に、義務化されている「HACCPに基づく衛生管理」について、より高度化・効率化するための講習を開催
- ・HACCPコーディネーターによる現地指導



オンラインセミナー



コーディネーターによる現地指導

'23実績

- HACCP高度化推進講習：16事業者参加
オンライン全6回、個別指導（現地およびオンライン各1回）
- 販路拡大に向けた個別指導：アドバイザー派遣 7事業者
- 販売促進セミナー（講義形式）：18事業者参加
講師による現地視察・商品アドバイス：3事業者参加（講師の都合により中止）

3.食品関係産業の振興

経済団体、金融機関、行政機関、食品産業団体等が協力体制を構築し、オール和歌山で食品関係産業の振興を推進するとともに、食品流通の核として重要な役割を持つ卸売市場の整備・強化を支援します。

(主な取組)

○経済団体、金融機関、行政機関等と連携した取組

- ・和歌山県中小企業団体中央会
- ・和歌山県商工会議所連合会
- ・和歌山県商工会連合会（食品関連情報の共有）
- ・（公財）わかやま産業振興財団
（わかやま産品商談会in和歌山 及び in大阪）
- ・（株）日本政策金融公庫（産品商談会in大阪）
- ・（株）紀陽銀行（地方銀行フードセレクション）
- ・損保3社（※）との包括連携協定（企業内物産展）
※三井住友海上火災保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、損害保険ジャパン日本興亜(株)
- ・日本郵政（株）との包括連携協定
- ・よい仕事おこしフェア実行委員会との包括連携協定
- ・（独）日本貿易振興機構（県産物の輸出）
- ・関西広域連合（各種セミナー、Web商談会）等



郵便局カタログ

○和歌山県食品産業協議会と連携した取組

- ・「和歌山の食品」に関する情報発信
- ・食品関連の研修、セミナーの開催 等



FOOD STYLE Kansai2024 への出展

○和歌山市中央卸売市場の再編整備

- ・実需者ニーズに合わせたコールドチェーン対応の閉鎖型市場施設の整備
- ・実施年度：平成30年度～令和7年度
- ・実施概要：青果棟、水産棟、総合食品センター等の整備



R5青果棟整備

'23 実績

○経済団体、金融機関、行政機関等と連携した取組

- ・（公財）わかやま産業振興財団：産品商談会in和歌山
- ・関西広域連合：Web型マッチング商談会（2023.11.28）
食品輸出セミナー（2024.1.19）
- ・日本郵便：郵便局カタログ「食で旅するおいしい和歌山」

○和歌山食品産業協議会と連携した取組

- ・会員への食品関連情報の案内（年間22件）
- ・FOOD STYLE Kansai2024への出展（2024.1.24～1.25）

○和歌山市中央卸売市場青果棟の一部完成

- ・売場施設（3,530m²）、貯蔵・保管施設（235m²）、市場管理センター（300m²）

令和5年度 主要事業実績 及び 令和6年度 計画一覧

		令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度計画	
営業訪問	バイヤー・県内事業者等との面談	訪問件数	1,024件	1,115件	適宜実施
商談会	スーパーマーケット・トレードショー	参加事業者数	25社	21社	募集時期：募集終了 開催期間：2/12～14 募集者数：14事業者
		商談件数	502件	459件	
	FOODEX JAPAN	参加事業者数	18社	18社	募集時期：募集終了 開催期間：3/11～14 募集者数：14事業者
		商談件数	408件	354件	
	R4 健康博覧会 R5 フードストアソリューションズフェア	参加事業者数	7社	13社	募集時期：募集終了 開催期間：9/4～5 募集者数：8事業者 (※生産者に限る)
		商談件数	126件	161件	
	わかやま産品商談会in大阪 (R6：FOOD STYLE Kansai 共催)	参加事業者数	74社	81社	募集時期：募集終了 開催期間：1/22～23 募集者数：50事業者(予定)
		商談件数	223件	405件	
	県産品マッチング商談会	参加事業者数	37社	58社	募集時期：募集終了 開催期間：10/2～3 募集者数：40事業者(予定)
		商談件数	136件	205件	
	フードトレード・アシストパッケージ	参加事業者数	9社		
		商談件数	69件		
大手食品卸主催商談会	参加事業者数	18社	18社	【7月開催】 ・伊藤忠食品展示会 ・三井食品フードショー 【2月開催】 ・国分西日本展示商談会 ・三井食品関西メニュー提案会	
	商談件数	228件	231件		
フードスタイル九州	参加事業者数	10社	10社		
	商談件数	270件	196件		
通販食品展示商談会	参加事業者数	10社	10社		
	商談件数	164件	152件		
商談	リアル商談	商談件数	294件	336件	適宜実施
	WEB商談	商談件数	231件	170件	
通信販売	郵便局カタログなど	参加事業者数	133社	43社	
		掲載商品数	304商品	49商品	
商品力 販売力 向上支援	アドバイザー派遣	派遣件数	17回	17回	適宜実施
	各種セミナー開催	開催回数	20回	12回	適宜実施
		参加人数	501人	161人	
	Web用販促ツール等支援	補助事業者数	21社	15社	
	おいしく食べて和歌山モール (BtoC)	登録事業者数	142社	183社	随時募集
		登録商品数	720商品	792商品	
		モール閲覧数	336,539PV	372,915PV	
おいしく食べて和歌山モール (BtoB)	登録事業者数	185社	198社	随時募集	
	登録商品数	832商品	876商品		
	登録バイヤー数	358人	489人		
有名シェフ、バイヤー等招聘	招聘件数	24件	47件	適宜実施	
物販	わかやま紀州館	購買者数	82,174人	85,183人	テスト販売 随時募集
		出品事業者数	215社	225社	
		売上	108,460千円	116,334千円	
情報発信	Instagram、Facebookなど SNS、クックパッド、著名人	フォロワー数	11,394人	11,766人	適宜実施
		発信回数	230件	243件	
輸出	青果	輸出額	487,824千円	554,326千円	和歌山県農水産物・加工食品輸出促進事業で支援
	加工品	輸出額	3,230,674千円	3,873,540千円	
	海外向け商品提案	事業者数	146社	147件	随時募集
商品数		818件	826件		

※各数値は令和6年7月末時点で関係事業者の協力に基づき集計したものであり、今後ホームページで更新してまいります。

食品流通課ホームページでは各種事業内容の紹介を行っています。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/index.html>



ホームページ

様々な情報をメールで配信しています。（登録無料）

1. 県内事業者向け

- 「募集・ご案内メールマガジン」（毎週1回配信）
首都圏や海外展示会、販売催事及び国内外バイヤーとの商談会に
係る事業者募集、各種セミナー開催等のお知らせ



県内事業者向け
メールマガジンの登録

2. バイヤー向け

- 「旬のTasty healthy wakayama」（毎月1回配信）
県内事業者の商品情報や食品流通課の取組情報など
旬の情報を配信



バイヤー向け
メールマガジンの登録

【本庁問合せ先】

和歌山県農林水産部食品流通課

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
TEL：073-441-2820
FAX：073-432-4161
e-mail: e0717001@pref.wakayama.lg.jp

【出先機関問合せ先】

海草振興局農業水産振興課	〒640-8585 和歌山市小松原通1-1	TEL：073-441-3382
那賀振興局農業水産振興課	〒649-6223 岩出市高塚209	TEL：0736-61-0025
伊都振興局農業水産振興課	〒648-8541 橋本市市脇4-5-8	TEL：0736-33-4930
有田振興局農業水産振興課	〒643-0004 湯浅町湯浅2355-1	TEL：0737-64-1273
日高振興局農業水産振興課	〒644-0011 御坊市湯川町財部651	TEL：0738-24-2926
西牟婁振興局農業水産振興課	〒646-8580 田辺市朝日ヶ丘23-1	TEL：0739-22-1443
東牟婁振興局農業水産振興課	〒647-8551 新宮市緑ヶ丘2-4-8	TEL：0735-29-2011

※このアクションプログラムに記載している内容の一部には、様々な方面との協議を要し、適宜変更を行う場合がありますので、あらかじめ御了承ください。